

事務事業名		人形劇創造支援事業		会計	一般会計	実施区分	継続	
H29作成課等名		文化会館	H29係等名	人形劇のまちづくり係	H28担当課等名	文化会館		
基本計画上の位置づけ		政策 2	地育力によるこころ豊かな人づくり		事業種別	政策	開始 23 終了	
		施策 27	文化芸術の振興					
目的	対象(誰・何を)	①飯田市民 ②地元人形劇団		対象指標	指標名及び単位		28年度数値	
	意図(どういう状態にするか)	①人形劇の創造活動に参加してもらう。 ②新たに人形劇を創造し、発表できるようにする。			飯田市の人口		100957	
	向上させたい上位施策の成果指標	文化芸術活動に無縁な生活をおくっている人の割合(%減らす)			地元人形劇団数		76	
目標	種別	指標名及び単位		27年度計画	27年度実績	28年度計画	28年度実績	備考(指標変更など)
	成果指標	人形劇創造活動への参加者数		600	1035	800	1987	
	成果指標	地元人形劇団の上演回数		150	347	250	497	
定性目標								
事業概要	<p>市民が人形劇を見るだけでなく、演じることを楽しめるようになるため、市民劇団や多くの市民が多彩な人形劇の創造活動に取り組めるように支援する。また、地育力の向上に向けて、学校教育や保育活動に人形劇を取り入れられるように支援する。</p> <p>1 いいだ人形劇センター創造支援事業・・・いいだ人形劇センターに負担金を支出し、専門的な創造事業、創造支援プログラムを実施する。</p> <p>主な事業 プロデュース人形劇創造事業、基礎レッスン、体験プログラム、人形アニメーション創造事業等</p> <p>2 学校・保育園等での人形劇活動支援・・・小中学校・保育園・幼稚園への指導者派遣、指導者研修、合同研修など</p> <p>3 地域資源を活用した人形劇創造事業・・・飯田の人形劇文化である浄瑠璃、糸あやつり、人形アニメーション等を活かすための人材育成プログラム</p>							
事業内容				名称		活動指標		
28年度事業内容	1 いいだ人形劇センター創造支援事業			1 (1)実施回数		1 (1) 155回		
	(1) いいだ人形劇センタープロデュース創造プログラム巨大人形劇プロジェクト in 南信州(「さんしょうお」制作)			(2)実施回数		(2) 11回		
	(2)愛知×飯田コラボ企画:愛知人形劇センターとの連携事業【新規】			(3)実施回数		(3) 74回		
(3) 人形劇講座・初級コース / (4) 人形劇講座・中級コース			(4)実施回数		(4) 64回			
(5)人形劇ユーススクール(高校生～大学生対象の人形劇講座)【新規】			(5)実施回数		(5) 20回			
(6) 人形劇の基礎レッスン / (7)人形劇体験ワークショップ			(6)実施回数		(6) 21回			
(7)実施回数			(7)実施回数		(7) 7回			
2 学校・保育園等での人形劇活動支援			2 (1)講師派遣回数		2 (1) 63回			
(1) 小中学校・保育園・幼稚園への講師派遣			(2)研修会実施回数		(2) 4回			
(2) 指導者研修会 / (3) 小中学校劇団の合同講習会 / (4)人形劇制作交付金の支出			(3)合同講習会実施回数		(3) 0回			
(4)交付件数			(4)交付件数		(4) 16件			
3 地域資源を活用した人形劇創造事業			3 (1)ワークショップ実施回数		3 (1) 72回			
(1) 竹田の糸あやつりワークショップ								
事業コスト		27年度決算額	28年度予算額	28年度決算額	29年度繰越額	特定財源内訳、補足		
事業費計(千円)①		7,066	9,211	7,119	0	(国)文化芸術振興補助金(1/2)		
国庫支出金		3,550	6,000	4,800				
県支出金								
起債								
その他								
一般財源		3,516	3,211	2,319				
人件費計(千円)②		3,576	3,576	3,576	0			
正規職員所要時間		1,000	1,000	1,000				
臨時職員所要時間		0	0					
総事業費①+②		10,642	12,787	10,695	0			
事業内容・目標達成状況の振り返り		<p>沢則行監督による巨大人形劇「さんしょうお」に取り組み、いいだ人形劇フェスタで上演を実施。飯田から世界に発信する人形劇として多くの注目を集めた。新たにユーススクールを開設し、高校生が人形劇に携わる機会ができた。</p>						
改革改善の考え方	①問題点	学校での人形劇活動の時間の減少、人形劇フェスタ出演のための担当教諭の負担、専門的な指導者を派遣するためのコスト面の課題などがある。						
	②改革提案	外部講師の指導・助言だけでなく、常に専門的な助言ができる体制を地域内に構築する必要がある。人形劇センターと連携し、指導者となる人材の育成に取り組む。						